

発行日 04-8-2015

セクション1：製品および会社情報

製品特定名

製品名 6993 X-50 RED 611-C

その他の識別手段

登録番号 情報なし。

化学薬品の推奨用途および使用制限 推奨される使用

プリンティングインク

に対する使用の勧告

情報なし。

安全データシートの提供者の詳細

Manufacturer

セクション2：危険有害性の要約

Classification of the substance or mixture

急性毒性 - 経口		区分 4
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		区分 2B
生殖毒性		区分 2
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	MARKEM-IMAJE 2-19-7 Hatagaya	区分 3
Category 3 Narcotic effects.	Shibuya, Tokyo 151-0072 Japan Phone: 050-8881-1680 Fax: 050-8881-1678	

ラベル要素



注意喚起語

警告

危険有害性情報

- H302 - 飲み込むと有害
- H320 - 眼刺激を引き起こす
- H336 - 眠気又はめまいのおそれ
- H361 - 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

注意書き - 予防

- 使用前に取扱説明書を入手すること
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- 指定された個人保護具を使用すること
- 取り扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること

注意書き - 対応

- 暴露または暴露の懸念のある場合：医師の診断/手当てを受けること
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- 飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること

注意書き - 保管

- 施錠して保管すること
- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと

注意書き - 廃棄

- 内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること

その他の情報

該当せず

セクション3： 組成および成分情報**化学特性**

溶剤、ポリマー、色素及び添加剤からなる混合物。

化学名	重量%	化審法	安衛法	CAS番号
2-フェノキシエタノール	60 - 70	-	-	122-99-6

セクション4： 応急処置**一般的アドバイス**

症状が持続する場合は、直ちに医師に連絡する。．粉じん/ ミストを吸入しないこと。．眼に入れない、皮膚につけない、または衣服につけない。．

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移動する。．医師に相談する。．呼吸が不規則であったりとまったりした場合は、人工呼吸を行う。．直接の接触を避ける。口対口の蘇生術にはバリアを使用すること。．緊急な医療処置は必要ない。．蒸気を誤って吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移す。．症状が持続する場合は、直ちに医師に連絡する。．

皮膚に付着した場合

必要であれば医師に相談する。．汚染された衣服と靴を脱いで、直ちに石けんと水で洗浄します。．緊急な医療処置は必要ない。．皮膚の炎症が継続する場合は、医師を呼ぶ。．

目に入った場合	大量の水で直ちに洗浄します。最初の洗浄後、コンタクトレンズを外し、少なくとも15分間、継続して洗浄します。． リンス中は眼を大きく開ける。． 症状が持続する場合は、直ちに医師に連絡する。． 多量の水で15分以上よく洗浄し、医師の診察を受けること。．
飲み込んだ場合	口内をゆすぐ。． 多量の水を飲む。． 症状が持続する場合は、直ちに医師に連絡する。． 吐き出させない。． 水で口内を洗浄してから十分な量の水を与えます。． 意識のない人には、絶対に、口から何も与えてはいけません。． 医師に相談する。．
応急措置をする者の保護	個人保護装置を使用します。．
最も重要な兆候及び症状	情報なし。
医師に対する特別注意事項	症状に応じた治療を行う。．

セクション5： 火災時の措置

引火特性	可燃性物質。
消火剤	二酸化炭素 (CO ₂)、粉末消火剤、水溶性液体用泡消火剤、． スプレー。
使ってはならない消火剤	棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。．
化学物質による特定の危険有害性	可燃物ではないが、裸火やその他発火源に曝されると爆発することがある。． 燃焼により不快で有毒な煙霧が発生する。． 流出液は水路を汚染することがある。． 火災または強い熱によりパッケージが激しく破裂することがあります。． この物質は水に浮くので火災の危険性が発生します。．

セクション6： 漏出時の措置

人体に対する注意事項	個人保護装置を使用します。． 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。． 十分な換気を実行します。． 付近の発火源となるものを速やかに取り除く。． 関係者以外は安全な場所に避難させる。． こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。．
環境に対する注意事項	水路、下水道、地階または密閉区域への侵入を防ぐ。． 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。． 製品を排水施設に流してはならない。． 蒸気がたまり爆発性濃縮物が生成されるので要注意。蒸気は低いところにたまる可能性あり。．
封じ込めの手段	安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
除去方法	個人保護装置を使用します。． せき止める。． こぼれた液体を砂、土、他の非燃焼性吸収材で覆う。機械で取り上げて適切な容器に入れ、処分します。汚染表面全体を十分にきれいにする。． 不活性な吸収材で吸収させる。． 取り出して、正確なラベルのついた容器に移す。．
二次危険有害性の予防	環境規則に従って汚染された物体および区域を十分に浄化すること

セクション7： 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。． 保護具を着用する。． 汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。． 蒸気やスプレー煙霧を吸い込まない。． この製品を使用中は、飲食せずまたタバコも吸わない。． 適切な排気装置が設置されたエリアでのみ使用する。．
------	---

保管 栓をしっかりと閉め、乾燥した換気の良い場所に保管する。・ 小児の手の届かないところに保管してください。・ 低温で、換気の良い場所で容器の栓をしっかりと閉めておく。・ 正確なラベルのついた容器に入れておく。・

混触禁止物質 酸化剤に配合禁忌。・ 強酸およびアルカリとに配合禁忌。・

セクション8： 暴露防止および個人保護措置

暴露ガイドライン

化学名	日本産業衛生学会 (許容濃度)	Japan - ISHL Working Environment Evaluation Standards - Administrative Control Levels	ACGIH TLV
2-フェノキシエタノール 122-99-6			-

設備対策 十分な換気を確実にします。・ 作業場所の近辺に洗眼びんおよび安全シャワーを設けること。・

保護具

呼吸器用の保護具 通常の使用では必要がない。・ 換気が不十分な場合は、適切な呼吸装置を着用します。・

手の保護具 Impervious gloves made from .
眼／顔面の保護 密着性の高い安全ゴーグル。顔面シールド。
皮膚及び身体の保護具 長袖の衣服。耐薬品エプロン。エプロン。不浸透性手袋。

適切な衛生対策 飲食物から遠ざける。・ 使用中は、飲食や喫煙をしないでください。・ 汚染された衣服は、洗濯した後に再使用する。・ 可能な限り適切な保護手段を使い、溶剤との接触を避けることは産業衛生上推奨される。・ 装置、作業エリア、衣服の通常の洗浄。

セクション9： 物理的及び化学的特性

基本的な物理的及び化学的特性に関する情報

物質の状態	液体		
物理的状态	情報なし。	臭い	特有
色	赤色	臭いの閾値	情報なし。

セクション9： 物理的及び化学的特性

性質	値	所見/方法	
pH	NA	融点/凝固点	<<
		沸点・沸騰範囲	242° C /468° F
		引火点	121° C /250° F
空気中での可燃性限界			
可燃性上限	ND		
可燃性下限	0.9%		
蒸気圧	情報なし		
水溶性	水に非溶解性	発火点	495° C /923° F
Solubility in other solvents	情報なし。	分解温度	情報なし。
		動粘性率	利用可能な情報はない
		動的粘度	ND
酸化特性	情報なし。		
その他の情報			
軟化点	情報なし。		
水溶性	水に非溶解性		
n-オクタノール/水分分配係数	適切なデータ無		

セクション10： 安定性及び反応性

反応性	
安定性	通常の状態では安定。.
爆発に関するデータ	
機械的なインパクトに対して敏感なし	
静電気放電に敏感である	なし
反応性	危険な重合はおこらない。
避けるべき条件	データなし。 炎、熱および発火源から遠ざける。
混触禁止物質	酸化剤に配合禁忌。 強酸およびアルカリとに配合禁忌。
危険有害な分解生成物	二酸化炭素 (CO2) 一酸化炭素 煙

セクション11： 有害性情報

曝露の主経路	付着 吸入した場合 吸入した場合 皮膚に付着した場合 目に入った場合
--------	------------------------------------

セクション11：有害性情報

目標臓器効果

眼 皮膚 呼吸器官 血液 肝臓 腎臓 甲状腺 呼吸器官

急性毒性

眼
皮膚
吸入
飲み込んだ場合

眼に対して重い炎症を起こす 眼をやや刺激することがあります。炎症を起こすことがある皮膚に中度の刺激を引き起こす。経皮吸収により有害。炎症を起こすことがある呼吸器官に刺激性。吸入すると有害のおそれ。呼吸気道に刺激を起すことがある。飲み込むと有害。飲み込むと、粘膜に刺激がおこる。

慢性毒性・長期毒性

骨髄や造血系に有害反応が起こることがある 肝臓に有害反応が起こることがあります。繰り返す曝露を避けます。

悪化する病状

事前に存在する眼の障害 血液疾患 腎臓疾患 肝臓疾患 皮膚疾患 呼吸疾患 甲状腺の疾患

発がん性

下の表はそれぞれの機関が成分を発がん性と認めたかを示している この物質はIARCによればヒトでの発がん性があると分類された物質（グループ1）、恐らくヒトでの発がん性がある物質（グループ2A）、ヒトでの発がん性がある可能性がある（グループ2B）を1以上含んでいる

セクション12：環境影響情報

生態毒性

水生生物に有害。

急性水生毒性

化学名	CAS番号	急性水生毒性
2-フェノキシエタノール	122-99-6	0

化学名	藻類に対する毒性	魚毒性	微生物に対する毒性	Daphnia magna (オオミジンコ)

2-フェノキシエタノール	500: 72 h Desmodesmus subspicatus mg/L EC50	220 - 460: 96 h Leuciscus idus mg/L LC50 static 337 - 352: 96 h Pimephales promelas mg/L LC50 flow-through 366: 96 h Pimephales promelas mg/L LC50 static	500: 48 h Daphnia magna mg/L EC50
--------------	---	---	-----------------------------------

GHS分類 慢性水生毒性

残留性/分解性
生体蓄積性
移動性
他の環境情報

本製品自体のデータはない。
生物蓄積の可能性
製品は不溶性で水に沈みます。
情報なし。

セクション13： 廃棄上の注意

残余廃棄物

現地の規定に従処分します。

セクション14： 輸送上の注意

IMDG/IMO

規定されていません

ADR

規定されていません

IATA

規定されていません

セクション15： 適用法令

消防法：

第4類（引火性液体）第三石油類 水溶性液体 指定数量 4, 000L

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

化審法 特定化学物質

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）

セクション15：適用法令

労働安全衛生法

労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則

危険物・引火性の物

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法57条1、施行令第18条）

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）

毒物及び劇物取締法

毒物(Poisonous)/劇物 (Deleterious), 適用濃度%

セクション16：その他の情報

発行日 04-8-2015

改定メモ
情報なし。

Key or legend to abbreviations and acronyms used in the safety data sheet
Not applicable

以上